

和木町立学校の教育職員に関する 業務量管理・健康確保措置実施計画

< 目次 >

- 1 計画の趣旨・現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 4 実施する業務量管理・健康確保措置の内容・・・・・・・・・・ 2～5
- 5 関連する取組、今後のフォローアップ・・・・・・・・・・ 6

令和8年3月

和木町教育委員会

1 計画の趣旨、現状

(1) 計画の趣旨

本計画は、地方公務員法、教育職員の給与等に関する特別措置法(令和7年6月改正)、及び文部科学大臣の指針に基づき策定するものである。教師のこれまでの働き方を見直し、教師のウェルビーイングを確保するとともに、教師が自らも学ぶ時間を確保しながら、専門性を最大限に発揮して、子どもたちによりよい教育を行うことができるようにすることをめざしている。

和木町教育振興基本計画で掲げる「ふるさと和木に誇りと愛着を持ち、和木の将来を担う人づくり」の実現には、教職員が心身ともに健康で、誇りとやりがいをもって職務に専念し、専門性を最大限発揮できる環境の整備が不可欠である。本計画がめざす働き方改革は、単に労働時間を削減することに留まらず、教職員が限られた時間の中で最大の成果を出すという意識を醸成し、業務の精選と効率化を図ることで、本来担うべき業務に注力できる時間を創出することにある。

和木町教育委員会は、本計画を学校と連携して総合的に推進し、保護者・地域の理解と協力を得ながら、町全体で和木町の未来を担う子どもたちの豊かな学びと成長を実現することをめざす。さらに、取組状況や課題を継続的に検証し、必要に応じて計画の見直しを行いながら、より効果的な働き方改革を進めていく。

(2) 本町の現状

ア 本町では、令和5年に所管に属する学校の教育職員の外在校等時間の上限に関する方針として、「年間360時間以内、月45時間以内」を目標として定め、超過勤務の縮減と子どもと向き合う時間の確保をめざして取り組んできた。

イ これまでの取組としては、「山口県学校における働き方改革加速化プラン【第3期】」が示す取組の柱に基づき、以下のように進めてきた。

① 柱1 業務の見直し・効率化

○事業・校務等の総点検と精選

・和木町教育委員会が開催する会議の精選と参加者の縮減、開催場所を町文化会館から学校へ変更したりオンラインで開催したりした。

○統合型校務支援システムの導入と運用

・令和6年度から運用している。

○校務における ICT 活用促進

・保護者からの欠席連絡、学校からの文書配付、各種アンケートにおいて ICT 機器を導入している。

○学校・教員が担う業務の在り方の整理と保護者・地域への理解促進

・学校運営協議会において理解促進を図るとともに、登下校への対応(見守り等)を

地域人材の協力を得て実施している。

② 柱2 勤務体制等の改善

○勤務時間管理の適正化と継続的な状況把握

・ICカードを活用した客観的な勤務時間の管理が行われている。

○意識改革を図る研修の充実

・山口山口県教育委員会が作成した「働き方改革現状分析ツール」を利用し、校内研修で活用している。

○部活動の適正化

・令和6年度から部活動の活動方針に基づき、平日2日(2時間程度)、休日1日(3時間程度)を活動日としている。

○留守番電話の活用

・令和6年度から導入している。

○メリハリのある働き方のルール化

・学校ごとにノー残業デーを設定している。

・8月13日から8月15日までの3日間、学校閉庁日を設定している。

③ 柱3 学校支援人材の活用

○コミュニティ・スクールの仕組みの活用

・学校と地域の支援者との連携調整を行う地域コーディネーターを任命している。

○教員業務支援員の配置

・令和2年度から教員業務支援員を配置している。

○部活動指導員の配置

・令和6年度から準備が整った競技において部活動指導員を任用している。

○ICT支援員の配置

・ICT支援員を配置している。

○町独自の講師、支援員の配置

・中学校に講師(常勤)1人を配置、小学校に支援員(非常勤)4人、中学校に1人を配置している。

ウ こうした取組の結果、本町における教育職員の時間外在校等時間の状況について、令和6年度は以下のとおりであった。

【令和6年度の時間外在校等時間の状況】

	年平均	月45時間を上回る人数の割合	月80時間を上回る人数の割合
小学校	月28.8時間	29.9%	14.3%
中学校	月50.2時間	54.4%	12.8%

2 目標

(1) 時間外在校等時間に関する目標

- ア 1か月時間外在校等時間が45時間以下の割合を100%に近づける
- イ 1年間における1か月時間外在校等時間の平均時間を30時間程度にする

(2) ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する目標

- ア 年間の年次有給休暇の平均取得日数を5日以上にする
- イ ストレスチェックにおける高ストレス者の割合を減少させる(令和7年度:5.1%)
- ウ ストレスチェックにおける健康リスクの値を65以下とする(全国平均100)

3 計画の期間

令和8年度～令和11年度

4 実施する業務量管理・健康確保措置の内容

本町では、本計画期間中の重点事項として、以下の内容に取り組む。

(1) 「業務の3分類」を踏まえた業務の見直し

ア 学校以外が担うべき業務

④ 地域学校協働活動の関係者間の連絡調整等

地域コーディネーターが中心となって行っているが、更なる活用を促進する。そのために山口県教育委員会が開催している地域コーディネーター養成講座の修了者の周知と活躍の場の拡大を図る。

イ 教師以外が積極的に参画すべき業務

⑥ 調査・統計等への回答

和木町教育委員会から学校に発出する調査について、ヒアリングで代替可能なものについては縮減を図る。

⑫ 校内清掃

校内清掃の実施回数や範囲の合理化を図る。ワックスがけ、カーテンの洗濯等大掛かりな清掃については地域人材やPTA等外部の力を借りることを検討する。

⑬ 部活動

スポーツ庁及び文化庁が別に定めるところにより、部活動の地域展開を推進する。

ウ 教師の業務だが、負担軽減を促進すべき業務

⑲ 支援が必要な児童生徒・家庭への対応

児童生徒の課題の状況に応じ、養護教諭のほか、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、支援員、福祉に関する専門人材等と教師の協働を促進する。

(2) 学校における措置の推進

- ・各学校の教育課程における年間授業時数や週当たり授業時数については、年度当初の計画段階で真に必要な時数となるよう設定する。

- ・当初のねらいが形骸化し十分な効果が見込めない活動等の見直し、清掃時間・頻度の見直し、放課後の活動時間の勤務時間内での設定など、日課表の工夫を行う。
- ・「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」に基づき、職員間における情報共有のデジタル化を図る。

(3) 教育職員の健康及び福祉の確保に関する取組

- ・1か月時間外在校等時間が 80 時間を超えた教育職員に医師による面接指導を実施する。
- ・終業から始業までに 11 時間を目安とする勤務間インターバル(休息时间)の確保に取り組む。
- ・ストレスチェックの実施率を100%にし、実施後の集団分析の結果等も活用して職場環境の改善を推進する。
- ・心身の健康問題についての相談窓口を設置し、必要に応じて保健管理医等による助言・指導の保健指導を受けるよう促す。
- ・年次有給休暇についてまとまった日数を連続して取得できるよう、各学校に対して取得を促進する。
- ・令和8年度中に、学校における定時退校日を月2回以上設定するよう促す。

5 関連する取組、今後のフォローアップについて

- (1) 取組の着実な実行を図るため、各学校の教育職員の在校等時間の状況を把握し、毎年度、和木町及び各学校のHPで公表するとともに、定例の教育委員会会議及び総合教育会議において報告する。
- (2) 学校での児童生徒等の支援に専門的な知見を有する人材の確保に当たり、関係部局・関係機関とともに取り組む。
- (3) 時間外在校等時間にかかる目標の達成状況については、本町で導入している出退勤システムで把握し、その他の目標については、本町で導入しているストレスチェックの結果から把握する。
- (4) 和木町教育委員会において、各学校の状況を確認し、本計画の内容に照らして課題が見られるときは、当該学校に聞き取り・指導等を実施する。特に、時間外在校等時間が長時間となっている教育職員がいる学校や、業務の持ち帰りや休憩時間の確保が課題となっている学校に対しては、当該年度中にも速やかに状況が改善されることをめざし、当該学校に対する個別の支援・指導を実施する。
- (5) 各学校における働き方改革の取組が進むよう、様々な機会を捉え各学校へ本計画の周知を行うとともに、管理職向けに山口県教育委員会が主催するマネジメント等に関する研修を周知し、積極的に活用するよう促す。各学校においては、校長をはじめとした管理職のリーダーシップのもと、学校運営協議会における協議等も踏まえつつ、本計画に基づき、教職員の働き方改革に向けた取組を実施する。

- (6) 保護者、地域の理解を促進するため、首長部局と連携し、保護者や地域に対して、本町における「業務の3分類」をはじめとする業務量管理・健康確保措置の内容について周知を行うとともに、具体の項目について協力を得られるよう取り組む。